

日本財団 遺言書に関する調査

2016年12月6日

調査概要

目的

遺言書作成の実態を明らかにすることで、遺言書の作成によって相続や終活に絡むトラブルを低減し、豊かで安心した老後生活の推進に寄与すること

対象

遺言書を作成している日本全国40歳以上の男女

回答数

有効回答数: 200
(男性: 126人、女性: 74人)

期間

2016年11月25日～11月28日

方法

インターネット調査

調査結果サマリー

1 資産5千万円以下の一般家庭で遺言書作成が多い(59.5%)

2 遺言書の作成時期は60歳以下の現役世代で55.5%

3 自筆証書遺言の作成者が約7割

4 「自身や家族の病気」や「人生のライフイベント」が遺言書作成のきっかけに

5 遺言書作成者の多くが「相続対策のため」

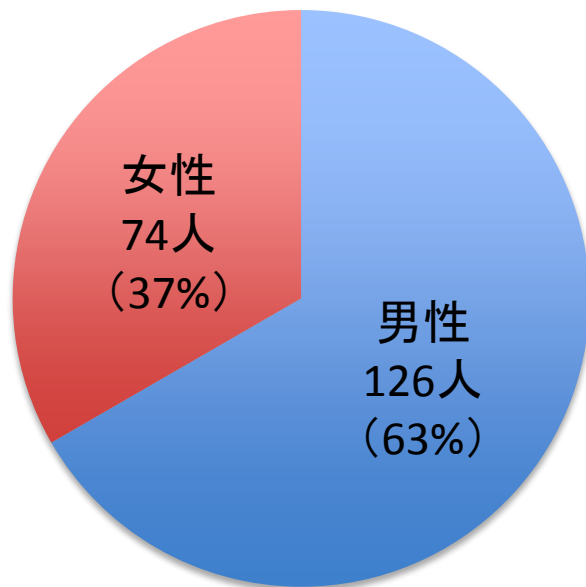
6 遺言書作成者のほとんどが遺言書の存在を家族・親族等に伝えている(72.5%)

7 作成者の半数以上は、他人に遺言書の作成を勧める(54.5%)

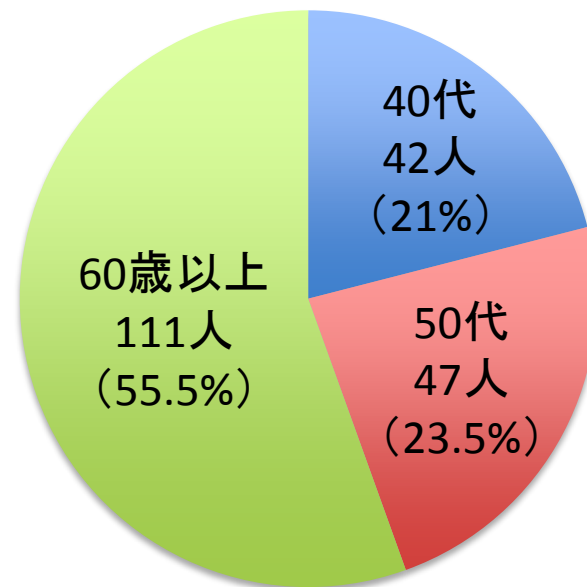
調查結果

- 男性(63%)が女性(37%)に比べて作成割合が高い
- 遺言書作成者の約半数(44.5%)が50代以下の現役世代

回答者の性別

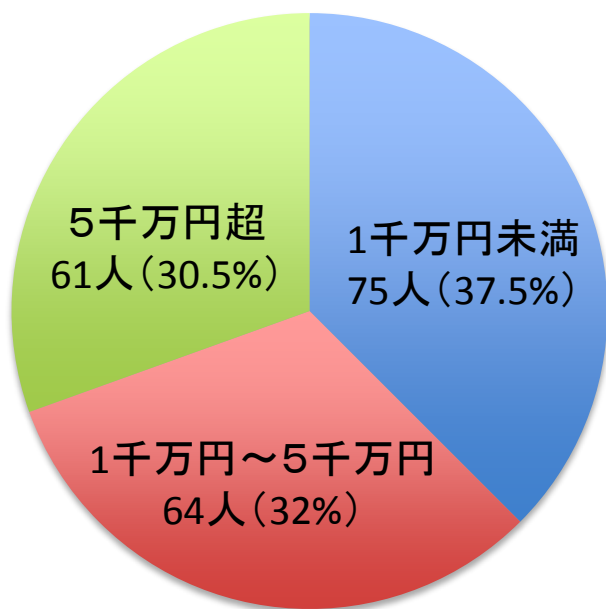


回答者の年齢

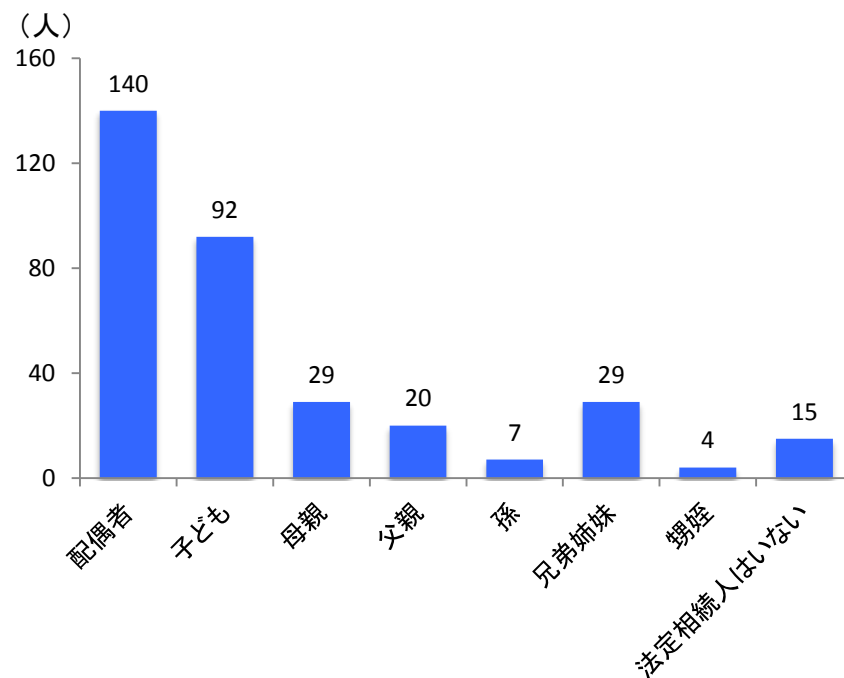


- 資産5千万円以下の一般家庭で遺言書作成が多い(59.5%)
- 法定相続人がいない 15人/200人(7.5%)

遺言書の対象となる資産の額

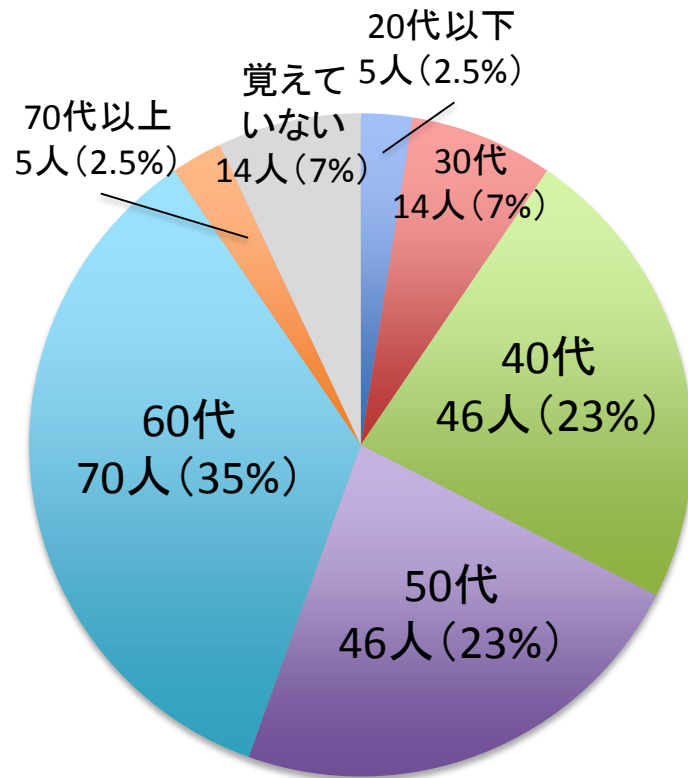


法定相続人

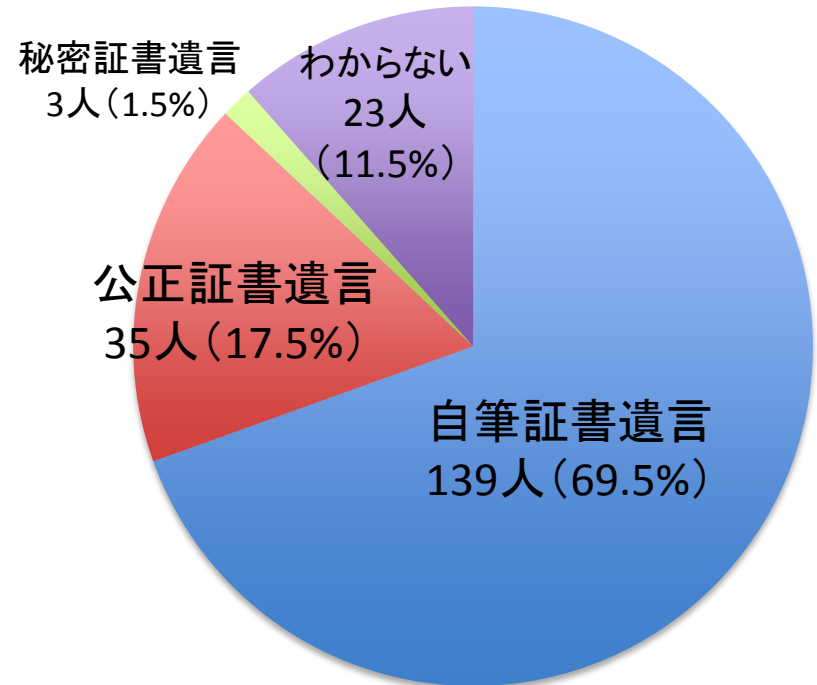


- 遺言書の作成時期は60歳以下の現役世代で55.5%
- 自筆証書遺言の作成者が約7割

遺言書の作成時期

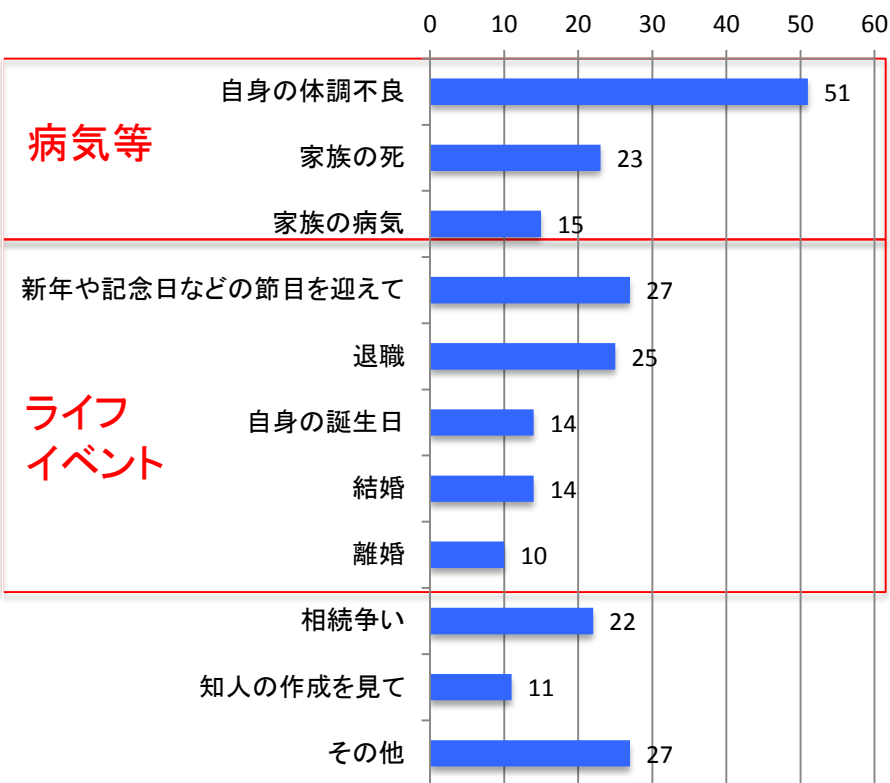


遺言書の種類

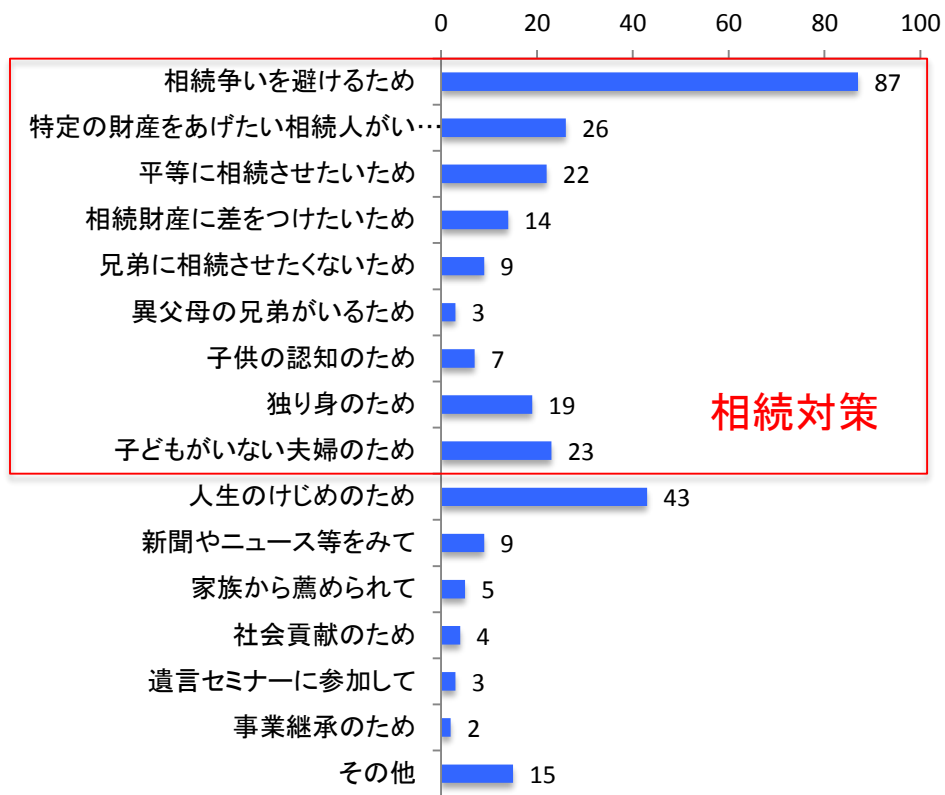


- 「自身や家族の病気等」と「人生のライフイベント」が遺言書作成のきっかけに
- 遺言書作成者の多くが「相続対策のため」

遺言書作成のきっかけ(複数回答)

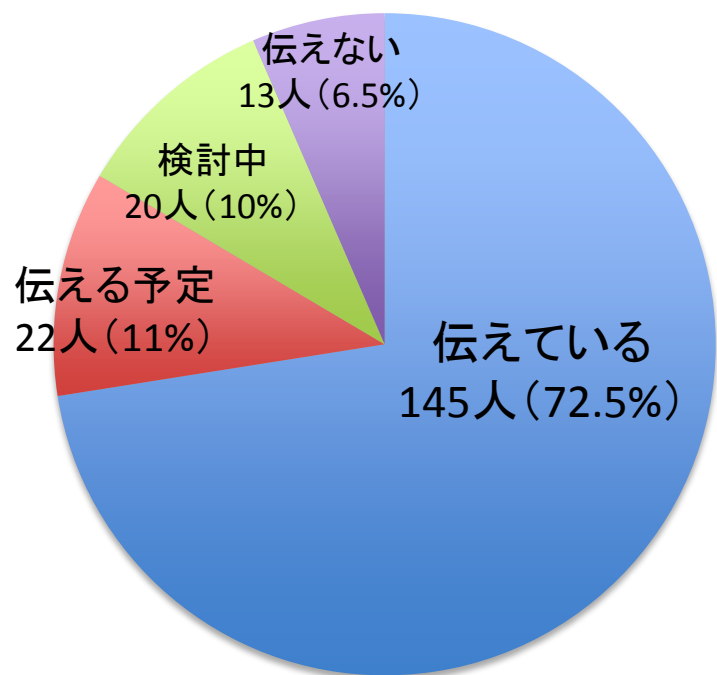


遺言書作成の理由(複数回答)

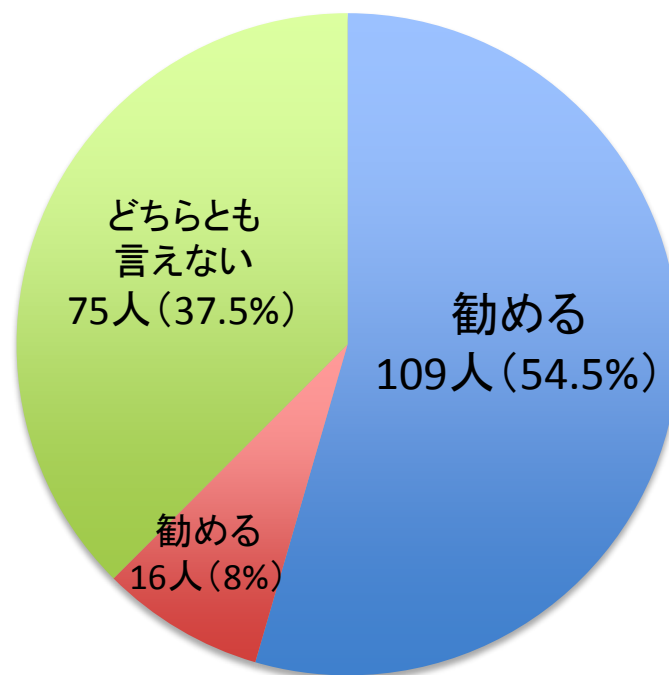


- 遺言書作成者のほとんどが遺言書の存在を家族・親族等に伝えている(72.5%)
- 作成者の半数以上は、他人に遺言書の作成を勧める(54.5%)

遺言書の存在を伝えているか

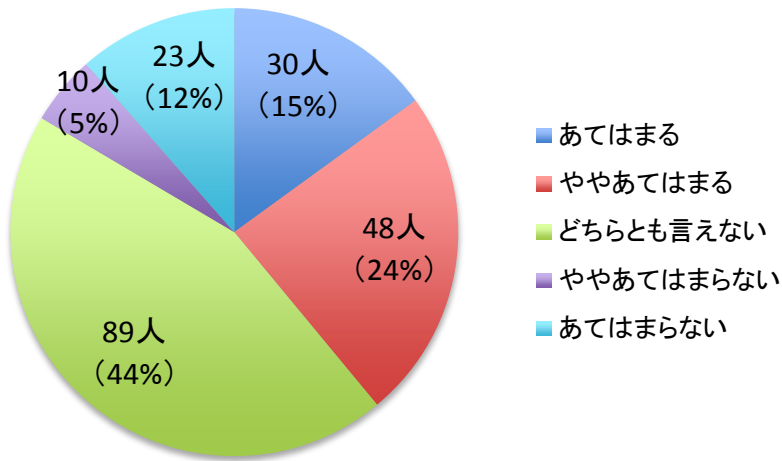


遺言書作成を他人に勧めるか

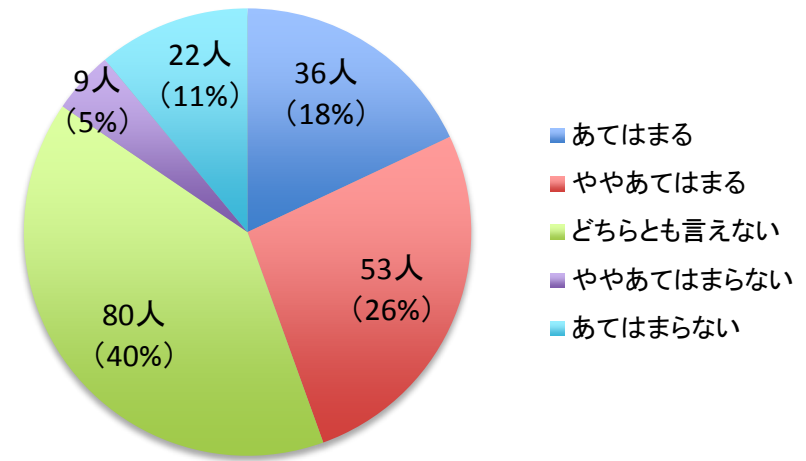


- 明確な意思を示した人は、遺言書作成をきっかけに、人生の様々な不安が減る傾向がある

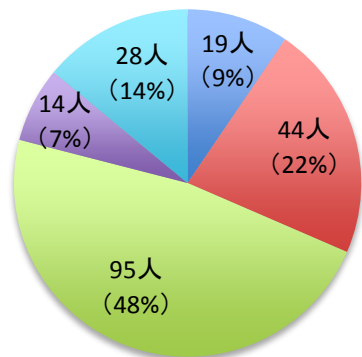
今後の生活全般に関する不安が減った



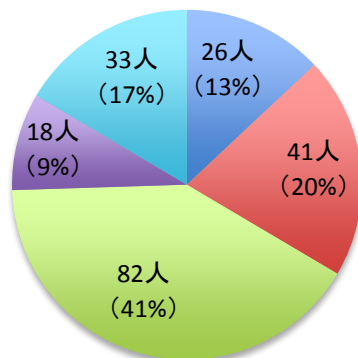
家族・親族間に相続争いが発生する不安が減った



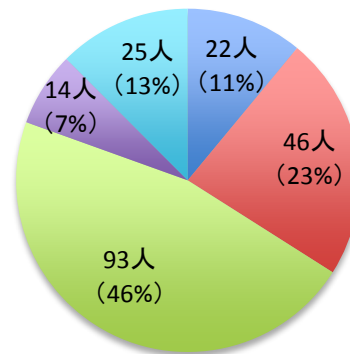
人生に前向き になった



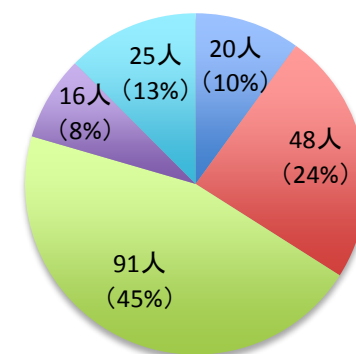
残す家族・ペットに 対する不安が減った



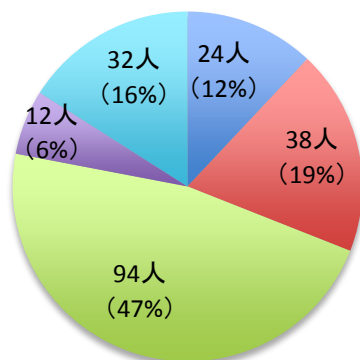
お金に関する 不安が減った



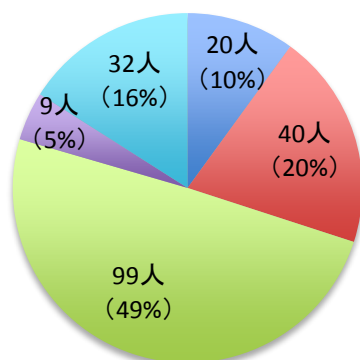
悩みが整理され 肩の荷が下りた



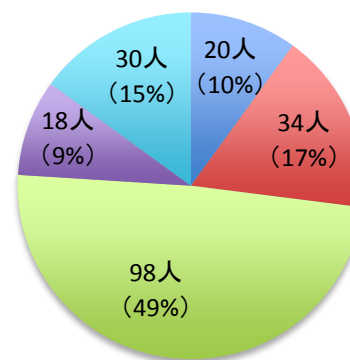
自分のお墓や供養に 関する不安が減った



他者への感謝の 気持ちの強まった



死に対する 不安が減った



- あてはまる
- ややあてはまる
- どちらとも言えない
- ややあてはまらない
- あてはまらない